

3. 二次評価

現地踏査による評価

評価区分	評価項目	評価内容	評価基準		
			評価点	配点	主な評価視点
自然災害等への影響	地形勾配	地形勾配 斜面災害の有無		10	急勾配または起伏が険しい勾配の場合(-) 緩い勾配の場合(+) 【候補地遠景からの確認】 地すべり地形、大規模崩壊地が確認できる(-) 【地形図・空中写真からの判断】 地形の不安定、リニアメントのずれが確認される(-)
自然環境保全への影響	周辺土地状況(自然)	候補地周辺(小流域もしくは500m以内)の土地状況		15	【現地踏査及び空中写真等からの判読】 山林や農地として有効利用されている土地の割合が多い場合(-) 荒廃した土地の割合が多い場合(+) 自然環境保全(希少野生動植物(県I類)含む)に影響する可能性がある場合(-)
生活環境への影響	景観の変化	立地による周辺地域からの景観変化		10	立地により周辺地域からの景観に影響がある場合(-)
	周辺土地状況(生活)	候補地周辺(小流域もしくは500m以内)の土地状況		15	生活圏の状況として密な場合(-) 地域の特色が損なわれる可能性がある場合(-) 耕作としての生活圏が大きい場合(-)
	車両等通行による影響	運搬車両の通行による影響		10	複数のルートからアクセスできる(+) アクセス道路の状況 幅員が広い(+)、歩道設置有(+)、沿線住宅が多い(-)等
水源への影響	利水の影響	水利用状況を確認		15	周辺の水利用状況で未給水住宅が多い(-) 農業への利水がある場合(-)
	放流先の水路・河川の状況	水路・河川の状況		10	現状(水量、断面、整備状況等)として放流に問題ない場合(+) 参考 河川の種別(一級、二級、準用、普通河川等)
建設運営コストへの配慮	候補地土地利用	候補地の土地利用状況		3	手が加えられている土地の割合が多い場合(-)
	施設立地への障害の有無	施設立地への障害の有無		3	大規模な撤去または移転すべき工作物がある場合(-)
	造成規模の確保	埋立効率(埋立容積/埋立面積)		3	計画規模の確保が容易な場合(+) 施設配置が容易な場合(+)
	アクセス道路等	搬入路のアクセス性		3	2車線道路へのアクセス性(距離が短い(+)、急勾配(-)等)
	ライフラインの確保	給水・電力の有無		3	ライフラインの確保が容易な場合(+)
評価点計				/ 100	

地元説明会の結果

要望・意見等	事務局回答

候補地

評価